

正面衝突事故・工作物衝突事故が多発！

【交通事故情勢】

9月中は死亡事故が多発しました！！

「平成元年秋の交通安全県民総ぐるみ運動」最終日の9月30日に2件の死亡事故が発生し、9月中の死亡事故は7件となりました。7件のうち横断中の歩行者事故が3件、正面衝突事故が2件、路外工作物衝突が2件であり、これらの事故形態は、最近の死亡事故の特徴として、県警から注意喚起されているだけに残念です。8月末までの交通事故の特徴をお知らせしますので、安全運転管理にお役立てください。

【今年の死亡事故の特徴】

1 自転車はみ出しの事故が半数以上

- 路外逸脱による単独事故、正面衝突や工作物への衝突など自転車をはみ出しての交通死亡事故は19件21人（前年比+8件+9人）で、全体の半数強（52.8%、36件中19件）を占めています。
- 内訳は、四輪車単独10件、二輪車単独3件、正面衝突6件になります。

2 歩行者の交通事故死者は3割強

- 歩行者の交通事故死者は12件12人（前年比+1件+1人）で全体の3割強（31.6%、38人中12人）を占めており、12人中6人（50.0%）が高齢者です。
- 歩行者事故12件中10件が夜間に発生しており、道路形状別では、交差点内4件、同付近1件、直線道路5件、駐車場等2件になります。

3 二輪車の交通事故死者は前年比4人増加

- 二輪車乗車中の交通事故死者は7件7人（前年比+4件+4人）で、前年と比較して増加しています。
- 事故類型は、単独事故4件、正面衝突2件、右折直進1件になります。

4 交通事故死者の3割強が高齢者

- 高齢者の交通事故死者は12件12人（前年比-7件-8人）で全体の3割強（31.6%、38人中12人）を占めています。
- 状態別では、歩行中が6人（道路横断中4人、その他2人）で、二輪車乗車中1人、四輪車乗車中5人になります。

5 飲酒運転事故の発生状況（※人身事故データ）

- 飲酒運転（原付以上）による死亡事故は2件2人（前年比+1件+1人）です。
- 県内の飲酒運転による人身事故は42件（重傷3人、軽傷55人）で、前年比-8件（負傷者-10人）になります。